



心(こころ)くん

2月号 銀杏

【学校教育目標】自立に向けて ともに磨き合う児童の育成

城南小学校だより
田布施町宿井1039-1
TEL 52-2559
FAX 52-2503

立春の2月、春の訪れまであと少し

寒さの中にも、少しずつ春の足音が聞こえてくる季節となりました。朝夕の冷え込みはまだ厳しいものの、日中のやわらかな日差しや、野に咲く草花の芽吹きに、確かな季節の移ろいを感じる今日この頃です。

2月は一年の中で最も短い月ですが、節分を迎え、暦の上では春の始まり。萩市では椿の花が咲き始め、梅のつぼみもほころび、自然の中に春の訪れを感じられるようになってきました。節分には、豆まきで邪気を払い、恵方巻きを食べて福を呼び込むご家庭も多いことでしょう。

節分の豆まきには、「悪いものを追い出し、良いものを迎える」という意味があります。これは、私たちの心の中にも通じることです。日々の生活の中で、つい意地を張ったり、誰かに優しくできなかったりすることもあるかもしれません。そんなときこそ、自分の中の「鬼」を見つめ直し、素直な心や思いやりの気持ちを大切にしていきたいものです。こうした季節の行事を通して、心も新たに春への準備を進めていきたいものです。

さて、1月に開催された「三世代交流どんど焼き集会」には、多くの地域の皆さまや保護者の方々にご参加いただき、誠にありがとうございました。12月の竹取作業、そして前日のやぐら作りと、地域の皆さまと力を合わせて一つの行事を創り上げていく過程に、あらためて地域の絆の深さと素晴らしさを感じました。子どもたちもこの活動に参加することで、城南への愛着や誇りが自然と育まれ、毎年その想いが受け継がれているのだと思います。

今年のどんど焼きでは、炎がまるで昇り竜のようにまっすぐ空へと立ち上り、新年の力強いスタートを象徴しているようでした。今年は午年。この勢いに乗って、子どもたちとともに元気いっぱい駆け抜けていきたいと思います。

学校においては、2月は「まとめ」と「準備」が重なる大切な時期です。6年生は卒業式や中学校進学に向けた準備が本格化し、他の学年も新学年に向けての学びの整理や、新入生を迎える準備が始まります。慌ただし中にも、一人ひとりが次のステップへと踏み出す力を育ていけるよう、学校全体で取り組んでまいります。

春の訪れとともに、子どもたちの笑顔がますます輝くよう、心を込めて日々を重ねてまいります。日々のご理解とご協力に心より感謝申し上げます。皆さまにとって穏やかで希望に満ちた春となりますように。

(校長 木村昌浩)

城南小学校のホームページは、右記のQRコードからご覧いただけます。
「子どもたちの様子」等は随時更新していますので、ぜひご覧ください。

